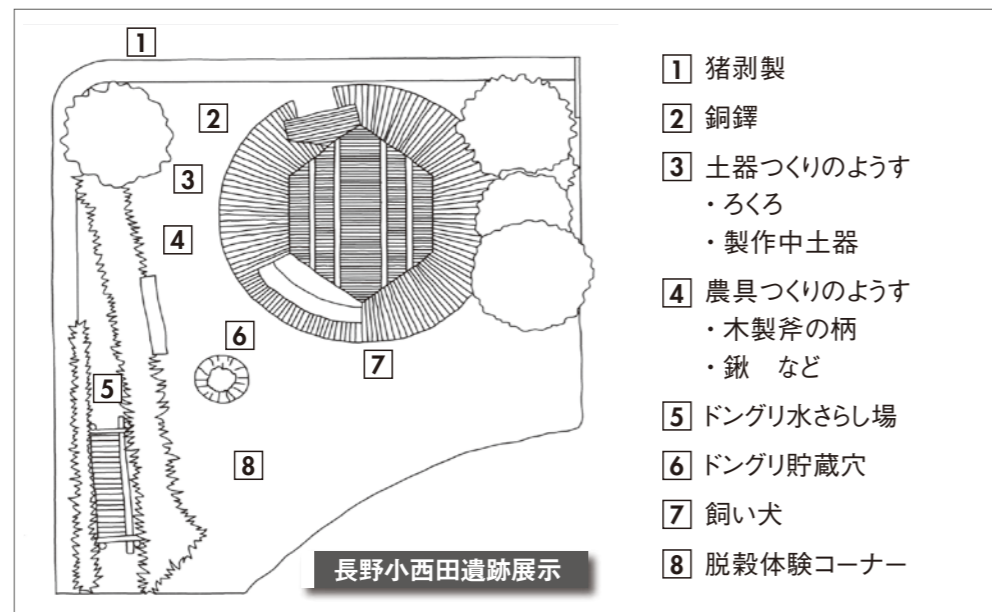


## 探究館の展示案内 / 弥生時代復元住居

場所	展示
竪穴住居内部	家族の人形 ・石包丁を作っている父親 ・石槍をもつ男子 ・米をとぐ母親 ・木の枝をもつ女の子
	食べ物 ・干されている稲 ・米 ・柿 ・栗 ・山芋 ・干し魚 ・火であぶられている魚 ・貝
	土器 ・甕…2 ・壺…2 ・高坏…1
	道具など ・土笛 ・石包丁 ・石囲いの炉

◎ 考古探究館見取り図



- ・ここでは、北九州市小倉南区の長野小西田遺跡をモデルに、弥生時代の暮らしが体感できるよう再現しています。季節は秋です。
- ・この遺跡ではドングリのアクを抜くための「水さらし場」やドングリの貯蔵穴が見つかっています。「水さらし場」は、川の底に割り裂いた木で枠を作ったもので、長さ30数メートルにもおよぶ大規模なものでした。このムラでは、米だけでなくドングリも大量に食料としていたことが分かります。

### 長野小西田遺跡出土品

- ・ドングリ貯蔵穴断面  
・小型壺  
・袋状口縁壺  
・脚付短頸壺  
・長頸壺型土器  
・壺型土器  
・器台  
・砥石  
・叩石  
・太型蛤刃石斧  
・挟入柱状片刃  
・石鎌  
・平鍬未製品  
・把手付き容器  
・石斧直柄未製品  
・扁平片刃石斧  
・柱状片刃石斧  
・石剣  
・石包丁  
・皮袋形土器  
・鐸型土製品  
・鉄製鋤、鍬先  
・鉄製鉋  
・青銅製鋤先  
・パネル「長野小西田遺跡」
- ※ この時代の道具の中心は、石でした。鉄、青銅器が使われ始めた時代です。

## 探究館の展示案内 / 弥生時代 家族の会話(朝)

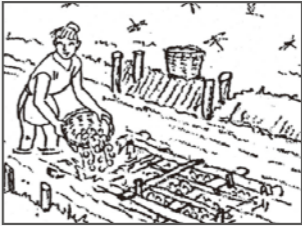





家族	ナレーション	食べ物・生活用品
母親	おはよう。今朝は、空気が冷たいね。朝日がでるのが、ずいぶん遅くなったね。	
父親	おはよう。だんだん朝が寒くなるなあ。何か飲みたいな。	
母親	今、温かいものを作りますよ。	・火を使った食事
父親	今日は、天気がよさそうだ。みんなで森へ木の実を採りに行くことにしよう。一人一人籠を背負って行くだよ。	・籠
男子	栗がたくさんってるよ。  私は、残るわ。小川でドングリをさらしたり、もうすぐ冬が来るから、着るものも編まなくちゃならないし。食べ物がすくないうえに、寒さがひどくて、赤ん坊が何人もしんじった年があったねえ。	・栗 ・ドングリ ・編んだ衣類 ・食糧事情
	 ドングリ貯蔵穴	
女の子	お父さん、昨日雨だったから、キノコが生えているような気がするんだ。	・キノコ
父親	そうだなあ。キノコも採ろう。夕方までかかるから、何か食べ物を持って行こう。	
母親	昨日の夜作った栗餅を焼いてあげよう。	・栗
女の子	私、栗餅大好き。お兄ちゃんがたくさん食べるから、いっぱい焼いてね。	
父親	そうだ。鳥がいるかもしれないから弓矢を持って行こう。コノは、射落とした鳥を探してくるのが得意だからな。	・鳥肉 ・飼い犬
母親	ほんとに、いい犬だよ。お父さんが子犬の時から、よく仕込んだんだよ。	
父親	帰ってきたら、石斧を作るよ。いい石を手に入れたんだ。お前も手伝えよ。	・石斧
男子	うん。ぼくの使う石斧も作ってね。今度木を切って見せるぞ。	
父親	怪我に気をつけろ。命取りになるぞ。	・怪我の手当ての事情
女の子	私の使う石包丁も作ってね。今年から私も稲刈りを手伝うわ。	・石包丁

## 探究館の展示案内 / 弥生時代 家族の会話(夜)



家族	会話	食べ物・生活用品
母親	今日は、キノコがたくさん採れたね。	・キノコ
女の子	落ち葉にかくれていたのを私が見つけたの。かたまって生えていたよ。	
母親	それはよかったね。キノコが生えるところは、毎年決まっているから、おぼえておくんだよ。	
女の子	キノコを採っていたら、何かが走って通ったの。びっくりしてそっちを見たら、猪の親子だったの。獣道だったんだね。きつと。	・猪肉
男子	親は、大きくて牙があって怖かったよ。猪狩りってたいへんだらうな。	
父親	そうさ、大勢いなければ無理だよ。遠くから囲んで追い詰めて獲るんだ。今度、猪狩りについて来るか。	・狩の方法
男子	えっ。ほんと。きつと連れに行こう。	
母親	鹿は、見なかったかい。	・鹿肉
男子	鹿の群れが遠くの山に行くのを見たよ。鹿狩りもいいなあ。	・稲 ・粟 ・豆
父親	丘から田んぼを見渡したけれど、今年は豊作だなあ。どの田も重そうな穂がついているよ。山のほうの粟や豆もよく実っているよ。	
女の子	豆がおいしそうだったよ。	
父親	今年は、ムラから飢え死にする子を出さなくてすむな。このムラも豊かになったもんだね。	
女の子	神様に感謝しなくちゃね。今年のお祭りは、にぎやかになるね。ほかのムラからも大勢来るよ。お供え物もたくさんになるね。	・お供え物
男子	お父さんは、また武器を持って鳥のような格好をして踊るの? (※この踊りについては、考古探究館前で上映される展示映像「弥生の暮らし」参照)	・武器 ・祭の装束
父親	そうさ、いい踊りだらう。鳥は神様の使いなんだ。幸せをよんでくるんだ。お前もよく見ておきなさい。 武器の使い方も覚えなければだめだよ。男なんだから。	



## 探究館映像 / 弥生の暮らし

画面	ナレーション
<p>1 北九州の弥生のムラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○石包丁で稲の穂を摘み取る様子。</li> <li>○高床式倉庫に稲を保管する様子。</li> <li>○ムラの中の生活の様子                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・機を織る人</li> <li>・犬をおいかけの子もたち</li> <li>・ドングリ水さらし作業</li> </ul> </li> </ul>	<p>弥生のムラに実りの秋が訪れました。</p>  
<p>2 祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥の姿の男の踊り</li> <li>○祭りに参加する人々                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・銅鐸を鳴らす人</li> <li>・楽器を演奏する人</li> <li>・踊る人</li> </ul> </li> </ul>	<p>男たちは、鳥の姿を装い踊りました。</p> <p>弥生の人たちは、豊作を神に感謝する祭りを行いました。収穫を祝って歌い、踊ります。</p> 
<p>3 埋葬</p> <p><b>テロップ</b></p> <p>「死する停喪十余日、時に当りて肉を食わず、喪主哭泣し、他人就いて歌舞飲酒す。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○埋葬するようす。石棺。</li> <li>○祈りを捧げる巫女</li> <li>○葬式に参加する人々の様子。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・死者を悼む人々</li> <li>・飲食をする人々</li> <li>・踊る人々</li> </ul> </li> </ul>	<p>弥生時代は、病気や怪我で亡くなる人が多い時代でした。巫女が死者の霊を鎮め、舞を捧げます。</p> <p>魏志倭人伝に人が死ぬと14日喪に服して、肉を食べず、喪主は泣き叫び、ほかの人は、酒を飲み、歌い、舞うと記されています。</p>  
<p>4 争い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○弥生のムラの戦闘場面                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・環濠集落</li> <li>・弓矢</li> <li>・盾と剣をもって戦う人</li> </ul> </li> </ul>	<p>弥生のムラでは、時には争いも起こりました。ムラまわりの柵や壕が、大きな役割を果たしました。</p>
<p>5 春のムラ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田おこし</li> <li>・あぜづくり</li> <li>・田植え</li> </ul>	<p>穏やかなムラの営みがまた始まります。</p> 

## 長野城合戦模型解説ナレーション

模型の演出	ナレーション
<p>1 畝状空群の工事場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親方に指揮された百姓たちが空堀を作っている。女性も作業に参加している。</li> <li>《男女の力仕事の声》 土堀り 《掘る音》 仕上げ 《照明—土堀り、仕上げをスポット》</li> </ul>	<p>長野城は長野氏が築いた戦国時代を代表する山城です。永禄8年6月、長野城は大友勢の攻撃を受けました。</p> <p>長野城の特徴の一つは斜面に沿って掘られた無数の空堀にあります。 背丈よりも深く土を掘り下げています。この工事には多くの百姓たちが動員されました。</p>
<p>2 城櫓、逆茂木、矢来などの防御施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《照明—城櫓にスポット》</li> <li>《照明—矢来にスポット》</li> <li>《照明—逆茂木にスポット》</li> </ul>	<p>長野城の防御の構えは厳しいものでした。櫓を設け、昼も夜も見張りが敵の動きを監視しました。</p> <p>矢来が張りめぐらされていました。この間から下の敵に向かって矢を射ったり、鉄砲を撃ったりしました。</p> <p>また、切った木を下に向けて構える、いわゆる逆茂木を並べ、攻め登る敵を阻みました。</p>
<p>3 大友勢の隊別構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>《兵士たちの声、エイエイオー》</li> <li>《照明—大友勢にスポット》</li> </ul>	<p>攻める大友勢は4人の大將がそれぞれに鉄砲、弓矢、槍を備えた兵を引き連れていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大友氏の旗印</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>長野氏の旗印</p> </div> </div>
<p>4 武器（鉄砲・弓矢・槍）を使用する合戦場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城兵、大友勢双方の鉄砲が火を噴く。</li> <li>《鉄砲を撃つ音》</li> <li>《弓矢が飛び交う音》</li> <li>《雄叫び》</li> </ul>	<p>大友一族は杏葉紋の旗を掲げています。城の守りは堅く、兵も果敢に戦いました。この頃、地方豪族の長野氏もすでに鉄砲を持っていたのです。</p> <p>空堀を攻め上がってくる大友勢を鉄砲や弓矢で狙い撃ちにしました。</p> <p>熾烈を極めた戦いは、2か月に及び、長野勢はついに力つき、城は落ちたのでした。</p>

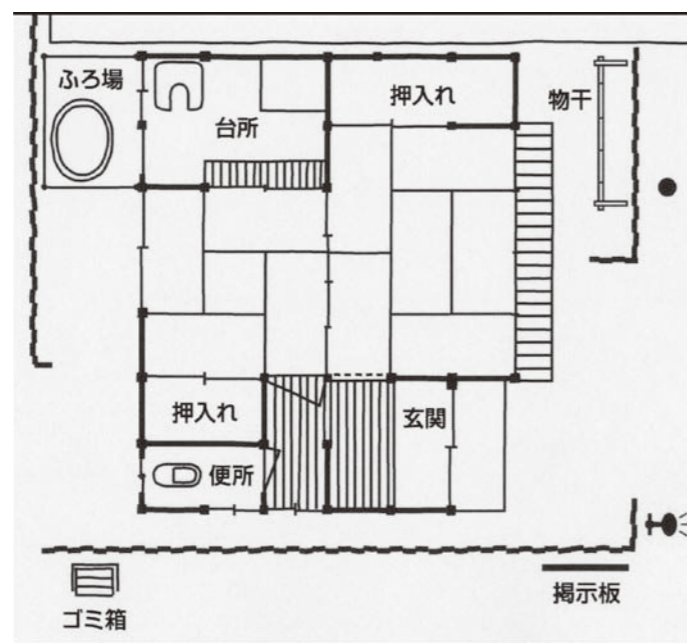
## 堀川の水道 / 川ひらた演出映像

画面	台詞
<p>◎ 滔々と流れる遠賀川の流れ</p> <p><b>テロップ</b> 遠賀川</p>  <p>老船頭</p>	<p>老船頭 ちょっと聞いてくれんかのう。 堀川はのう、遠賀川から水を引いて作ったとたい。むかしや遠賀川はよう大水がでてのう。あっちこっちに大きな被害をうけちよるたい。</p>
<p>◎ 黒田長政像（資料）</p> <p><b>テロップ</b> 黒田長政</p>	<p>若船頭 それで遠賀川の流れを堀川に分けて、洞海湾に流したと。</p>
<p>◎ 吉田切抜</p> <p><b>テロップ</b> 吉田切抜</p>	<p>老船頭 そうさ、元和7年、黒田長政様が殿様の時に、掘り始めたんじゃが、中断して、長いことたつてまたほったとたい。</p>
<p>◎ 「木屋瀬天神裏登船の景」(写真)</p>	<p>若船頭 おおごとやちよろうなあ。</p>
<p>◎ 寿命の唐戸</p> <p><b>テロップ</b> 寿命の唐戸水門</p>	<p>老船頭 一番けわしか工事が吉田切抜やった。 400メートルも続く岩場をのみとつちで切り抜いちよるんよ。</p>
<p>◎ 「楠橋村寿命の唐戸通船景」(写真)</p> <p>◎ 折尾村切抜(写真)</p>  <p>若船頭</p>	<p>老船頭 ほう。</p>
<p>◎ 折尾村陣之原(写真)</p>	<p>老船頭 そして、やっと宝暦13年1月から、ひらた船が堀川を行き来するようになった。 秋ともなれば、年貢米ば積んだひらた船がひっきりなしに下ったもんじゃ。 その後、寿命(じめ)までのばして、唐戸水門をつくったんじゃ。これでおよそ12.5キロの水路が完成したんじゃ。</p>
	<p>若船頭 ひらた船は若松まで早う下ることができるようになった。洞海湾がうんと近うなったとたい。</p>
	<p>若船頭 へえ。そして、石炭の時代がきたんやね。</p>
	<p>老船頭 そう、塩田で石炭をうんとこ使うようになってひらた船も石炭運びに忙しゅうなった。</p>
	<p>若船頭 明治時代は？</p>
	<p>老船頭 明治になってもひらた船が石炭を運んでなあ、日本の近代化ちゅうもんを支えたんや。多い時は、何千艘もひらた船がおったとよ。それあ、船頭の鼻息も荒かった。</p>
	<p>若船頭 ふーん。</p>
	<p>老船頭 さあ、行くとするか。</p>

## 探究館の展示案内 / 昭和30年代の社宅

場所	展示
玄関	・長靴 ・ズック ・サンダル ・革靴 ・回覧板 ・かさ ・かさたて ・達磨の絵の額 ・靴磨き道具
六畳の部屋	和ダンス周辺 ・博多人形 ・ラジオ ・ねじ巻き式時計 ・柳行李
	ちゃぶ台周辺 ・火鉢 ・火箸 ・五徳 ・灰掻き ・ヤカン
	木製の学習机周辺 ・ランドセル ・算盤 ・木の本立て ・木の独楽 ・ハーモニカ ・パチンコ ・セルロイドの筆箱 ・電気スタンド
庭	・物干し台 ・物干し竿 ・犬小屋 ・犬 ・フラフープ ・植木 ・下駄 ・竹箒 ・木のちりとり
四畳半の部屋	・水屋 ・裁縫箱 ・足踏み式ミシン ・鏡台 ・菓子鉢 ・コタツ ・木目込み人形 ・茶筌筒 ・着物
風呂場と風呂場周辺	・鏡 ・脱衣かご ・すのこ ・桶 ・石鹸箱 ・洗面器 ・木製の風呂桶 ・風呂用の椅子 ・ヘチマ ・薪の束 ・石炭袋 ・十能
台所	かまど周辺 ・火消し壺 ・やかん ・鍋 ・七輪 ・団扇 ・米びつ ・火の用心の札 ・マッチ
	台所周辺
路地	・街燈 ・ゴミ箱 ・板塀 ・木の電柱 ・自転車 ・掲示板 ・商品宣伝看板(豆炭・足袋・パンなど) ・映画の看板 ・猫
家族の会話内容	・ラジオの音声 ・電気釜 ・パン ・即席ラーメン

昭和30年代の社宅の部屋



## 探究館展示映像 / 昭和30年代の北九州

画面	ナレーション
1 製鉄所映像	男 A おい、昭和の30年代に入ったころは、この北九州も活気に満ちていたなあ。 男 B そうよ。あの時代、神武景気・岩戸景気と続いたんだからなあ。
2 若松市北海岸の映像	男 A NHK福岡が、九州初のテレビ放送をはじめたのが昭和31年なんだ。この年に若松の北海岸が国定公園に指定されて全国に知られることになった。
3 門司水族館 魚を見る子どもたち	男 A 門司の水族館に大勢の人がつめかけたのも、このころだったな。 男 A そう、たいへんな人気だった。
4 関門国道トンネル開通	男 A 昭和33年も忘れられない年になったんだ。長年の夢という願いがかなって、関門国道トンネルが開通し、本州と九州を結ぶ「路」として、門司や小倉はいっそう重要な役割を果たすようになったというわけだ。
5 製鉄所の圧延機 戸畑専用港 鉾石岸壁	男 B 北九州も大きく変わる時代に入ったんだな、そのころに。 男 A うん、そうだ。製鉄所も戸畑で新しい圧延機が動き始めた。迫力があつたなあ。そして、専用埠頭には、次々と鉄鉾石を積んだ船が入ってきた。
6 小倉中央卸売市開設写真 テレビ西日本開局写真 高塔山ロープウェイ	男 A テレビ西日本も放送を始めた。 男 B 高塔山ロープウェイも開業したんだ。初めて乗ったときは、嬉しかったなあ。
7 日本シリーズ西鉄対巨人戦	男 B そして、この年西鉄ライオンズが黄金時代を迎えたんだ。何しろ日本シリーズで巨人に3敗した後、逆転4連勝したんだから、そりゃあ、九州は、大騒ぎになった。 男 A 稲尾は、何試合投げたんだったかなあ。 男 B 7試合中6試合に登板、47イニングも投げたんだ。その上、自ら逆転サヨウナラホームランときたからね。 男 A そりゃあ、神様、仏様、稲尾様と言われたわけだね。



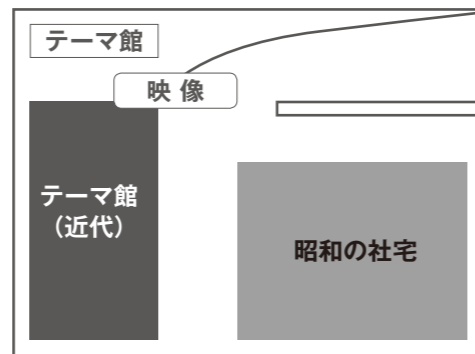
## 探究館展示映像 / 昭和30年代の北九州

画面	ナレーション
8 小倉城天守閣 ジェットコースター	男 B 昭和34年。小倉城の天守閣が復元した。遊園地のジェットコースターが大人気だった。
9 和布川の菊人形展ポスター	
10 戸畑第一高炉	男 A 戸畑で、世界最大、1,500 tの高炉に火が入った。
11 若戸大橋開通	男 B それから、着々と鉄の一貫生産体制が作られていった。昭和37年、若戸大橋ができた。
12 五市合併北九州市発足の ニュース	男 A そうだよ。こうして現在の北九州の発展の基盤が作られていったんだ。
13 現在の北九州市街地	男 A 昭和38年2月、門司、小倉、若松、八幡、戸畑の五市が合併。北九州市が誕生。新しい時代を迎えたんだ。

※探究館展示映像およびナレーションがあるのは夜の場面するとき。朝と夕方は親子の会話となっている。



◎映像が映し出されている様子



◎部屋の中の様子



◎台所の様子

## 体験学習「昔のくらし体験」



博物館では第3学年社会科の「さぐってみよう 昔のくらし」を支援する館内授業を行っております。博物館の特性を活かし、実物に触れたり、学芸員の解説を聞いたりしながら昔のくらしについて学んでいきます。

定員	2クラス(約70名)	時間	90分
持参するもの	炒った大豆(一人5粒程度)	教材費	無料

## ● 学習内容

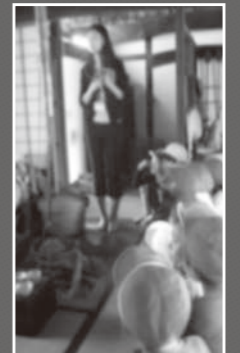
## 昔の農家を見てみよう

約100年前(明治時代)の農家に入って、家の造りや生活の工夫などを学芸員の解説を聞きながら学び、今と昔の生活の違いを考えていきます。

時期や天候によっては、昭和時代の社宅(探究館)に場所を変更する場合があります。



昔の農家(文化学習園)



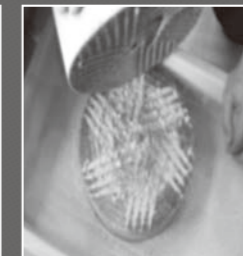
学習の様子

## 石臼体験

実際に石臼をひき、大豆を黄粉にする体験や年長者の方からのお話を聞く活動を通して、昔の人の苦労や知恵、工夫を体感します。



石臼



石臼でできた黄粉



学習の様子

## 昔の道具調べ

昔の道具に触れながら、使い方を調べる活動を通して、昔の人々の知恵や工夫を理解し、現在の道具と比較することで、生活の変化を実感できるようにします。



学習の様子



昔の道具(左から黒電話、がんどう、箱膳、ひのし)

事前申込が必要ですので、ご希望の場合は、あらかじめ博物館へご連絡下さい。

※70名を超える場合は、2回に分けて行いますので滞在時間が3時間必要です。

※時期により、内容は変更する場合がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。